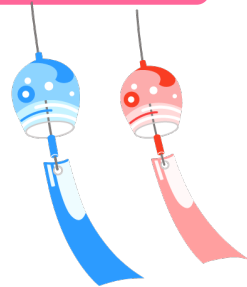




News • Letter



2022 年度 総会・記念講演会 ご報告

2022 年 5 月 19 日（木）に 今年度もオンラインにて、「第 7 回社員総会」を開催致しました。

今年は、当初、新型コロナウイルス感染症の拡大前に毎年会場としていた国民会館でのリアル総会を 3 年ぶりに予定しておりましたが、大型連休後の感染拡大の懸念と大阪府の感染防止要請解除前の為、急遽オンラインでの開催と決定し、第 7 回総会が無事に開催できました事、会員様、役員ご関係者様のお陰と厚く感謝申し上げます。

総会は、理事長 東樋口護の挨拶に続き議長指名の後、第 1 号議案～第 5 号議案の発表と採決が行われ、全ての議案を採択頂きました。なお第 5 号議案につきましては、理事および監事の選任を行い、東樋口理事長の再任と共に、理事、監事の再任を承認されました。

総会の最後に「登録住宅いえかるて」の「表彰状贈呈式」を行いました。

今年から表彰規定を取り決め、更に昨年度末までの供給戸数アンケートをもとに理事会で選出致しました。

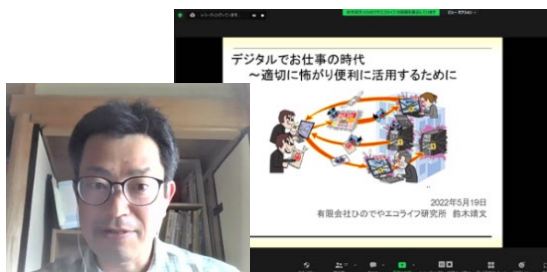
宮崎市のアイ・ホーム様は、年間登録数が 30 戸以上で「いえかるて貢献賞」。5 年以上連続でいえかるてをご活用いただき且つ、自社供給戸数のうち高割合でご登録いただきました、大阪府のカメヤグローバル様と奈良県の株式会社森様には「いえかるて優良活用賞」と各対象会員さまへの賞状・クリスタル盾の贈呈を読み上げ、後日ご送付で進呈致しました。

当日は、アイ・ホーム様の代表取締役 宜野座様にオンラインで参加頂きお言葉を頂きました。

アンケートにご協力頂きました会員の皆様、ご協力ありがとうございました。



総会終了後は、記念講演会「デジタルでお仕事の時代」～適切に怖がり便利に活用するために～ を、有限会社ひのでやエコライフ研究所 代表取締役の鈴木靖文様にお話し頂きました。



講師 鈴木 靖文氏

鈴木様は、情報セキュリティマネジメントシステム JIS Q 27001:2014 (ISO/IEC 27001:2013) 取得責任者で、個人情報の取扱い等に配慮しながら家庭の省エネ対策を推進する WEB アプリ・ツール「うちエコ診断」等のソフト開発・サーバー管理等を行い、対外的には、地球環境市民会議 (CASA) 理事、環境安全センター理事、京都・大阪府市で公的委員と立命館大学非常勤講師など、幅広い活動をされています。

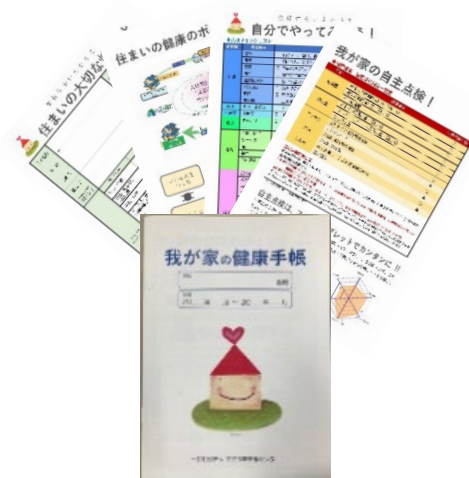
今回の講演は、工務店や建築事業者の現状に合わせて、ネット環境に対応できるデジタル活用の色々 (広報・営業等)、またセキュリティ問題など注意点も含め講演頂き、参加の皆様にご好評を頂きました。ご講演賜りました鈴木様、ご参加頂きました会員様、ご関係者様、ありがとうございました。

今年度も引き続き、センターにご支援、ご参画賜ります様、何卒、宜しくお願い申し上げます。

【プラチナ（P）コース 同封冊子のご案内 no. 1】

登録住宅いえかるて web のプラチナコースご利用の場合は、住宅所有者様へ下記の冊子をお渡ししています。

- ① 我が家の健康手帳 ② 住まいのお手入れ ③ 住まいの管理手帳（金融普及協会発行）④ その他マニュアル



その中で今回は、①「我が家の健康手帳」のご紹介です。

見た目はA4 半分ほどの小さな手帳ですが、住宅所有者様には、いえかるての初歩を簡便に学んでいただける手帳です。住まいの大切な情報の記入欄に、「住まいの健康のポイント」として、点検の必要性を記載していますので、ここで、貴社の点検の時期やご維持管理についてご説明下さい。

また点検に興味をもっていただけるよう、自主点検についてもご紹介しています。住宅所有者様が、気が付いた時に書き込めるメモがついていますので、メモをまとめて年に1度「登録住宅いえかるて」web にデータアップする活用方法もございます。

お客様には、常時のご利用をお勧めください。

＊「我が家の健康手帳」は、まとめて販売もしていますので、裏面に貴社情報を入れ、お客様に配布できます。ご希望の場合はセンターホームページからお申込み下さい。



登録住宅いえかるて
ログイン

いえかるての
ご利用をお待ち
しています！

木の住まい論

毎月「いえかるて」で登録の住宅所有者様・会員様に、当センターから、メールマガジンを配信しております。「居住空間工学」を長年研究されている、東樋口理事長が3か月に一度こちらに連載している「木の住まい論」は好評につき、今回のニュースレターより、第1回目から順次掲載を開始します。

「木の住まい論」1 ー東樋口 護 (2018年4月のトピックスから)



木造住宅の過去・現在・未来について、思いつくままに書いていきたいと思います。そこから、環境世紀の住まいについて、考えられたらと考えているのですが。

(1) はじめに一戦後、木造住宅は変わった。

日本人の住まいは木造住宅である。これが大変便利な住宅になった。幼い頃、冬のすきま風に耐え火鉢に手をかざし、こたつに潜り込んでいたような生活はもうない。憧れのモダンリビングを手にした。スイッチ一つで冷暖房がコントロールできるし、蛇口をひねれば水もお湯もふんだんに出る。

しかし、住宅も大量に作って使い捨てる、大変寿命の短いものになった。次から次へと商品化される、文字通り常に新しい新建材をてんでバラバラに使用することによって「個性」を発揮しようとするのだが、すぐに古くなってしまいうし、町並みも乱れるばかりだ。アルミサッシなどの使用による高气密化と新建材・接着剤の多用がシックハウス症候群すら生み出している。安全であるべき住まいが健康障害の原因になるということにもなった。また、急ぎすぎた住まいの近代化によって、日本の美として讃えられた民家や町家の風景を失なうことにもなった。戦後の住まいの近代化によって便利で効率のよい木造住宅を手にしたが、一方では失ったものも多いといえる。

では、これからの木造住宅はどうあるべきか。おそれずに言うと、私はこの半世紀に達成した木造住宅の近代化の効果を踏まえながら、伝統的な民家や町家で築いてきた木造技術を再評価し生かす道を探ることだと考えています。

到達した現代技術の上に立って、木を主要構造材として生かすという原点に立ち返ることが必要です。そこから、地球環境世紀の日本の住まいの一つの形が見えてくると考えます。 (つづく)



2022年度「住宅メンテナンス診断士®講習会」 申し込み 受付中！



◆ 第 49 回 大阪会場 ◆

開催日：2022年7月26日（火）

会場：新大阪丸ビル別館（大阪市東淀川区東中島 1-18-2）

◆ 第 50 回 東京会場 ◆

開催日：2022年11月14日（月）

会場：全水道会館（東京都文京区本郷 1-4-1）

講習会の詳細・お申し込みは、
下記 QR コード、または、センターホームページまで。

感染症対策について

対面式の講習会を開催するにあたり、
下記のとおり、新型コロナウイルス感染症対策を実施いたします。

- 1、受講者・講習会運営関係者の入室前
体温チェック
- 2、マスク着用をお願い
- 3、手指消毒剤の設置
- 4、演台にアクリル板を設置
- 5、休憩時間中の換気

講習会当日、発熱や体調不良の場合は、ご受講をお控えいただき、来年度にご受講いただけます。



講習会の
← 詳細は
こちら

WEB からの
申込みは →
こちら



【講習会内容】※ 今年度より新メニューが加わりました！

- 住宅メンテナンス診断の概論
- 住宅メンテナンス診断業務の基本、調査の流れ、報告書の種類等
- シロアリ・木材腐朽等の木材劣化の原因と診断技術、外装の劣化診断の基礎知識
- 住宅メンテナンス診断の実務と報告書作成の基本 **NEW!!**
- 講義終了後、資格認定試験

講習会お申込の際に、よくあるご質問

Q1. 受講・受験資格はありますか？

A. いいえ、ございません。どなたでもご受講いただけます。

Q2. 実際に住宅のメンテナンスをしたことがないのですが、講義についていけますか？

A. はい、講義は基礎的な内容から入りますので、メンテナンスの経験がない方からでもご好評をいただいています。また、新入社員研修として講習会を取り入れていただいている会員様もごございます。

Q3. 資格認定試験は難しいですか？

A. 1日の講義をきちんとご受講いただければ、良い結果が待っていると存じます。



会員勉強会

2022 年度 第 1 回情報交流会 「増築現場の構造見学会」～京都市北区～

当会員で企画推進部会の石田工務店様のご協力で、4月15日（金）に京都市北区にて今年初めての情報交流会を約12名の参加で開催しました。

購入した隣家のみ解体し、築5年程の住宅に1階+ロフトの新築と床の高さを合わせ、1階と2階をつなぐ増築工事の現場見学会です。つなぎ目の雨仕舞や雨樋の処置について更に工事中の室内に入りご説明いただきました。

現お住まいの構造と増築部分の構造や防火の観点での防火窓の入替、市役所への届出等思わぬ煩雑な作業があるとのこと説明でしたが、広くなった住宅の出来上がりを心待ちにいただいている施主様の笑顔にお応えする工事とお聞きしました。

後半は、展示ハウスへ移動しました。右キッチン、定年間近のご夫婦を想定して赤のベネチアンガラスがカウンターに映えていました。石田工務店様、ご多忙の中ありがとうございました。



消費者 セミナー

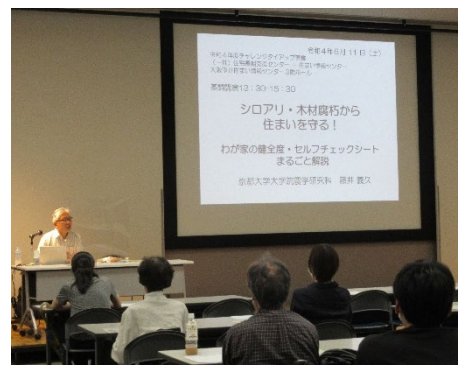
大阪市立住まい情報センターチャレンジタイアップセミナー 「シロアリ・木材腐朽から住まいを守る」開催報告！

6/11(土)に、大阪市内で消費者対象のセミナーを大阪市立住まい情報センター様とのタイアップで開催しました。

当日の講師は、当センター副理事長 藤井義久先生で、ご専門分野である「シロアリ・木材腐朽から住まいを守る」で消費者対象にお話しいただきました。ハイブリッドセミナーで、お申込者数79名でしたが、当日は会場約30名、オンライン28名、会場は男性が多数参加されていました。

先生のお話は、住宅の寿命やシロアリの生態などと実際の床下の蟻害や蟻道を紹介し、特に、都会の真ん中でハネアリが飛び立つ瞬間の動画や、マイクロスコープがシロアリの巣に潜入する動画などで消費者の皆様にご説明され、アンケートにも丁寧でわかりやすいと好評を得ました。質問も大変多く、住宅の相談先を探している参加者が多かった印象でした。

また、当センターの床下診断事業もご紹介させていただき、盛況のうちに終了しました。



活動予定

日付	時間	行事名	場所
7月22日(金)	15:30~17:00	2022年度第2回 企画推進部会 情報交流会 テーマ：地盤沈下の改修	当センター事務局内 及びZOOM
7月26日(火)	9:25~16:50	第49回 住宅メンテナンス診断士講習会	新大阪丸ビル別館
8月13日(土)	14:00~16:00	神戸市すまいるネット連携(親子)セミナー 第2回「クイズや工作で学ぶ！ 家の中のムシや微生物 ワールド探検！」	神戸市すまいるネットセミナールーム
11月14日(月)	9:25~16:50	第50回 住宅メンテナンス診断士講習会	全水道会館

※諸事情により変更する場合があります。※セミナー等の問い合わせ、お申し込みは、支援センター事務局まで。

新商品情報やお客様との交流活動等をお寄せください。



一般社団法人
住宅長期支援センター

〒540-0012 大阪市中央区谷町1-7-4
TEL: 06-6941-8336 FAX: 06-6941-8337
URL: <https://www.holsc.or.jp> E-mail: info@holsc.or.jp
いえかるて URL: <https://www.toroku-jutaku.net/>